令和５年度　東中学校　第２学年　美術　　シラバス

美術科スローガン　　自分の　で観て　自分の　で感じて　自分の　で世界でひとつしかない作品を創りあげよう！

学習内容

２年　　　組　　　番・氏名

	月	題　材　名	分野	学習目標
一学期	4 5 6 7	『ピカソと岡本太郎』 『私はパステル画家！』 （絵画）	鑑賞 表現	・ピカソの「ゲルニカ」と岡本太郎の「明日の神話」を鑑賞し、作者が問いかけるメッセージについてふれ、平和と美術との関わりについて考え、自分の心の言葉で作者へのメッセージとして表現する。 ・前年度の学習を振り返り、少しおとなになった 14 歳の自画像を表情豊かに、カラーパステルとアクリル絵の具で表現する。パステルの優しい風合いを楽しみながら、観察して表現する。オノマトペで自分の心の声や音などを表現し装飾する。
夏休み	7 8	夏休みの課題 『心惹かれる風景』 ・風景画の制作（絵画）	表現	・身近な見慣れた風景のよさに気付き、郷土を愛する気持ちとともに、美しさを水彩画で表現する。
二学期	9 10 11 12	『夢の惑星』 （彫刻） 『祈りの造形』	表現 鑑賞	・段ボール製の惑星で、楽しく遊んだり、勉強している自分の姿を粘土で表現する。 ・仏像に込められた人々の願いや、思いを感じ取りながら、そのよさや美しさを鑑賞し、言語で表現する。
三学期	1 2	『窓の向こうへ』 『古都との出会いを大切に』	表現 鑑賞	・「窓を開けたら・・・」からイメージし、自分の心の風景を描き、材料と道具の特徴を生かして自分だけの窓を制作し、表現する。 ・次年度の修学旅行に向けて、歴史的建造物や仏像などを鑑賞し、古都への思いを膨らませ、日本文化のよさを言語で表現する。

☆各学期に短時間の鉛筆デッサンの学習を行います。

評価

＜評価の観点＞
①【知識・技能】（評価材料　・・・　作品　鑑賞プリントなど）
・自分がつくりたいものの完成を目指し、道具や材料を工夫して、丁寧に仕上げる。
・作品の向上目指し、試行錯誤し、より完成度の高い作品に仕上げる
・自分が知りたい事柄について興味を持ち、主体的に知識を深め、まとめることができる。また、自分の作品に生かすことができる。
②【思考・判断・表現力】（評価材料　・・・　作品　計画表　アイディアスケッチ　鑑賞プリントなど）
・自分の気持ちや思いを作品に表現する。
・自分独自の構成を考え、よりよい作品にするために工夫する。
・日本や世界の美術作品を鑑賞し、作家の思いにふれ、自分の思いを言語表現する。
・作品のよさを互いに認め合い、話し合い活動を通して、作品への思いを膨らます。
・自分の作品や活動を自己評価し、次回への課題を見つけようとする。
③【主体的に学習に取り組む態度】（評価材料　・・・　作品　取り組む姿勢　振り返りシート　提出物など）
・授業に楽しく、意欲を持って熱心に取り組む。
・授業の準備や提出物、期日までに作品を提出する。自分の制作に必要な物を自分で考えて準備する。
＜評価の方法＞
・毎時間の授業への姿勢、作品の完成度・工夫・努力、鑑賞プリント、振り返りシート、計画表、アイディアプリントなどの学習活動を基にして総合的に評価する。 3つの観点のポイントを意識して、経験と努力を重ねていくことが、力を伸ばすことにつながります。

〇各学期の評定
AAA（5）　AAB（4）　ABB（3）　BBB（3）　CBB（3）　CCB（2）　CCC（1）

＜作品の評価＞
　5　よく工夫され、丁寧に仕上げた完成度が高い作品
　4　よく工夫され、丁寧に仕上げられた作品
　3　自分なりに工夫され、仕上げられた作品
　2　作品制作に取り組むが、努力を要する
　1　作品制作に十分取り組むことができず未完成、未提出。